



みどりと環境

北秋田市の小学生が思い描く
ぼく・わたしの

木の働きに守られて



竜森小学校5年
堀部 巨世くん

「木のおかげで、私たちの生活が守られているんだよ。」と、いつも育林活動でお世話になっていてる清水さんがにこにこして教えてくれた時、ぼくは木の働きのすばらしさを改めて感じた。

ぼくたちの学校で緑の活動が始まったのは、今から約50年前だそう。その頃、小さかった校長先生は、家の人たちが、植えるのを見て応援歌を歌って元気づけたそ

うだ。でも、今、ぼくたちは、家の人や地域の方々に手伝ってもらいながら、自分達の手で杉の苗を植えたり、雪起こしや枝打ちなどの作業をしたりしている。

実際にこの活動が、本当に生活を守ってくれるのか調べてみることにした。まず、「木は、呼吸しているか。」について木にビニール袋をかけて調べてみた。すると初めにあった二酸化炭素が全く消えてなくなり、酸素の量は増えていた。つまり、木は、本当に空気をきれいにしてくれていたのだ。次に、「木は、水をたくわえるのか。」を調べ

るために、森の土と土砂崩れした所の土を採ってきて、調べてみると、森の土から出てくる水の量がかなり少なかった。ぼくは、「森の土はしっかりと水を吸い、蓄えてくれているんだな。」と実感した。

さん性雨から自然を守る



合川西小学校5年
佐藤 美香さん

私達の学校では、「子どもエコクラブ」という活動をしています。

清水さんが教えてくれたように、木は空気をきれいにしたり、水を吸って土砂崩れを防いだりしてくれる。ぼくは地域の人の願いを受け、自分達の生活や環境を守るための大切な緑の活動をこれからも続けていきたいと思っています。

クラブでは、「雪のさん性度」(どのくらいよごれているか)ということを調べています。雪がふるたびに調べていますが、ふった雪は、全部さん性雪でした。

さん性雨や雪は工場や自動車、家などから出たよごれたけむりが空に上がっていつて雨や雪に混じってふってくるのだそうです。さん性雨は、他の国でもふっているそうです。スウェーデンでは、湖にさん性雨がたまって生き物が死んでしまつて「死の湖」とよばれるところがあるそうです。また、森がかれてしまったところもあるそうです。

ました。農業にもかかわってくる問題です。私はさん性雨を増やさないために、「電気自動車」をどんどん作ればいいと思います。

お父さんは、「じゅう電に時間がかかる。」と言っていました。確かに不便かもしれないけど、自然を守るためにも電気自動車にすればいいと思います。

さん性雨や雪の原因となるよごれたガスを出さないようにすることが、森の木々や畑の野菜、田んぼの米を守り、それが私たちの安全安心なくらしにつながるのではないかと思います。

防ごう!地球温暖化



浦田小学校5年
鈴木 紗月さん

今、地球上のあちこちで温暖化が問題になっています。先日、テ

レビのニュースで、気温が上がると各地に異常気象をもたらしている様子や南極と北極の氷が解けている様子の映像を見ました。また、貴重な生物が絶滅していることも話題になっていました。わたしは、「今、地球は大変なことになっているんだな。」と思いました。

地球温暖化の原因は、二酸化炭素などの増加だと言われています。石油を燃やしたり、車の排気ガスだったり、わたしたちの生活と深く関わっています。そこで温暖化を防ぐために、わたしにもできることや大切なことを考えてみました。

1つ目は、ごみを減らしていくことです。ごみを減らすと、燃やすすぎに出る二酸化炭素も減らすことができます。また、まだ使える物は最後まで大事に使ったり、修理して使ったりすることも大切

です。去年、ごみの勉強をしたときに、ペットボトルから服やジャンパーがリサイクルで作られていることを初めて知って驚きました。限りある資源を再利用していくことが大切だと思います。

2つ目は、森林や緑を守ることです。森林は空気をきれいにし、

自然を大切に



大阿仁小学校5年
福田 優人くん

水をたくわえ、動物たちが生活する場を作っています。わたしの住んでいる地域にもたくさんの方がいます。自然はわたしたちを気持ちよくしてくれます。いつまでもおいしい空気、美しい自然であり続けるように、しっかりと守っていききたいと思っています。

調べてみると、燃やせるごみやペットボトルが多くてびっくりしました。再利用できるものやリサイクルできるものはないのか、気をつけてごみを見るようになりました。ぼくの地区では、毎年クリーンアップをします。いつもごみの多さにおどろくのですが、今年は、テレビやパソコンといった大きい家電製品が多かったです。「どうして町にごみをすてるのだろう。」と思いながら、一生懸命ごみを拾いました。町や自然も悲しんでいるような感じがしました。

ぼくは、父と魚をつりに川へよくいくのですが、川にも空き缶やごみがすてられています。川がよごれると魚がすめなくなり。これからは、一人ひとりがごみをへらす工夫や努力をしていかなければいけないと強く感じました。自然を大切にしていかなないと大変なことになると思います。

平成20年6月15日、「全国植樹祭」が北欧の杜で行われます。ぼくは、今からとても楽しみにしています。ぼくは北秋田市が大好きです。自然が美しい北秋田市にしていきたいと思っています。

自分たちができる緑化運動や環境保護の大切さ、人と自然の関わりをテーマに、市内の小学生に作文を書いてもらいました。市内の小学生が実践している取組や将来に向けた提案等、北秋田市の未来を担う子どもたちの思いが詰まった作文を紹介します。